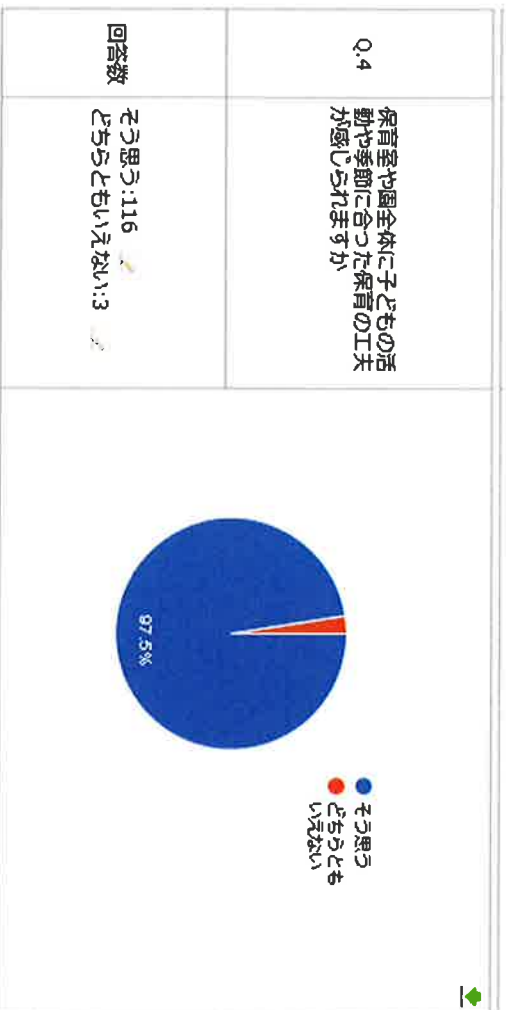
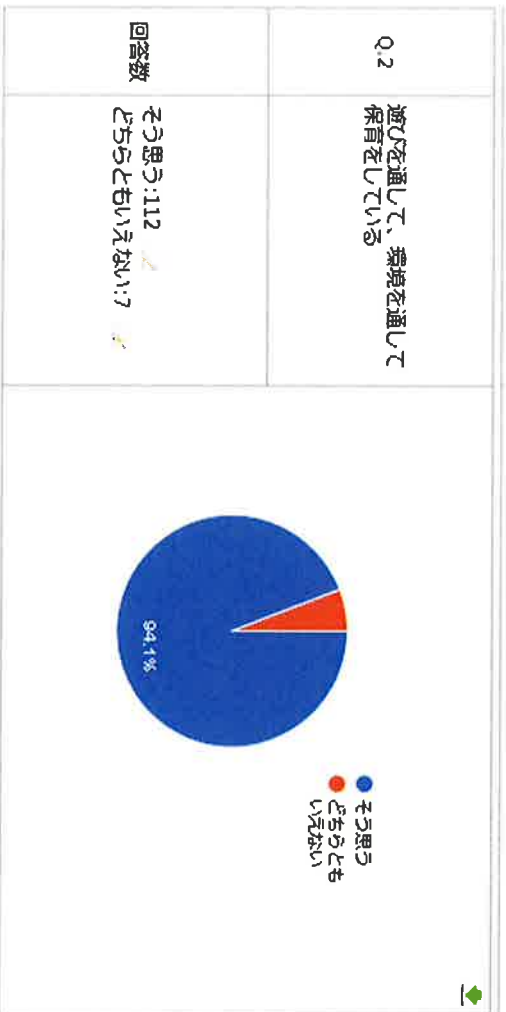
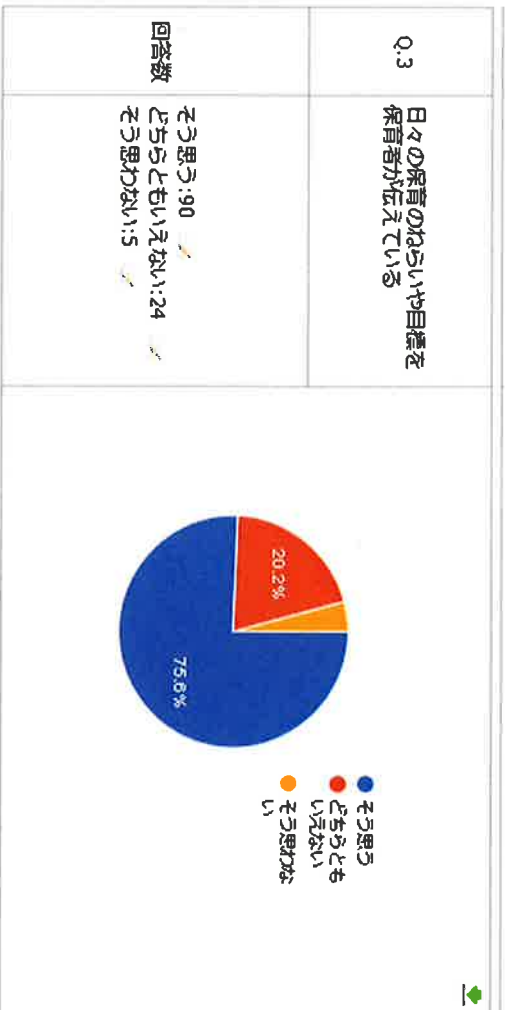
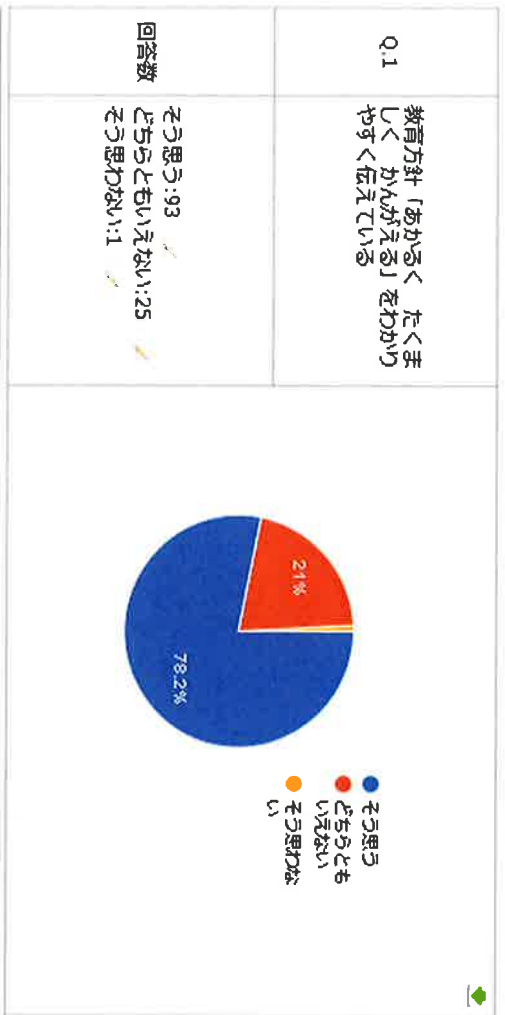
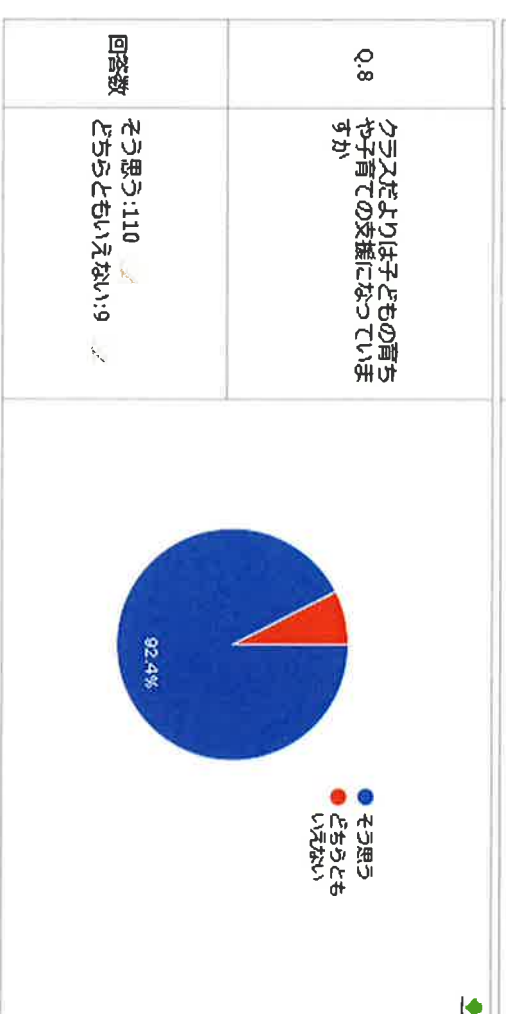
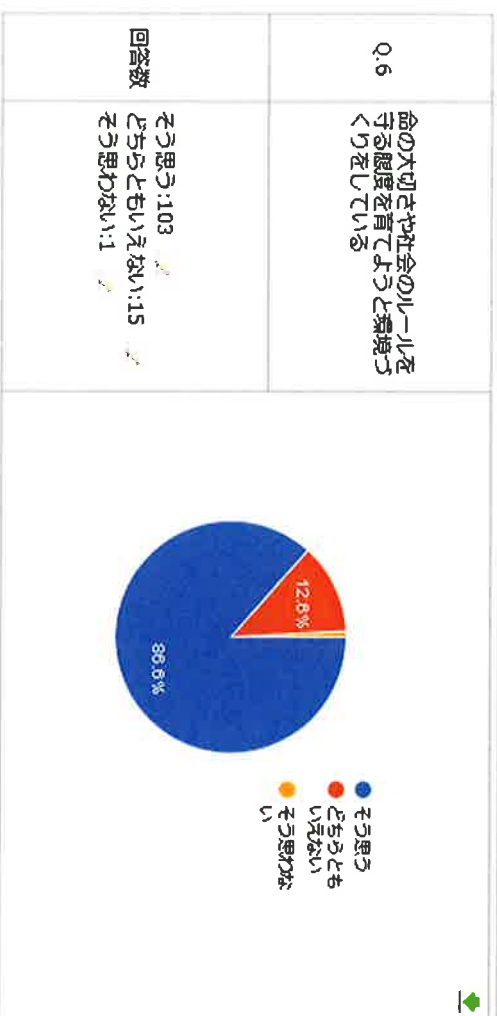
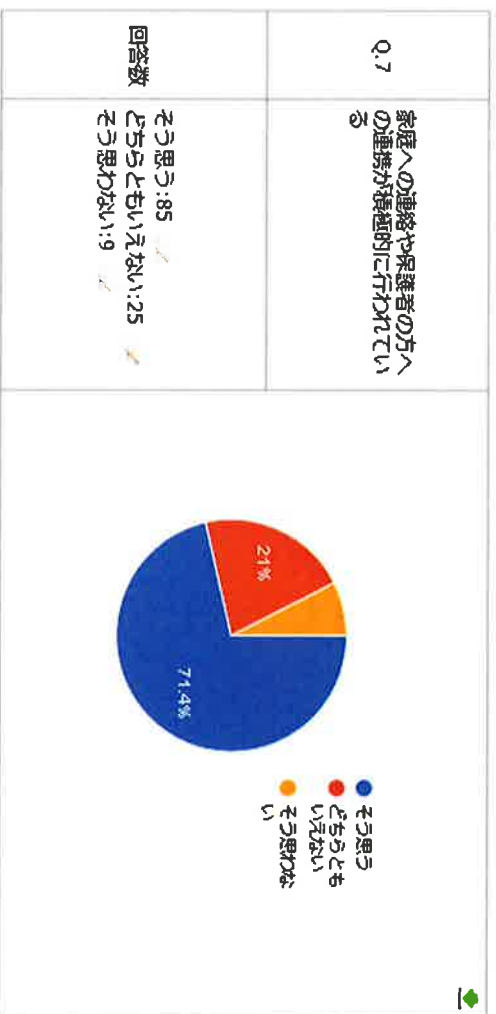
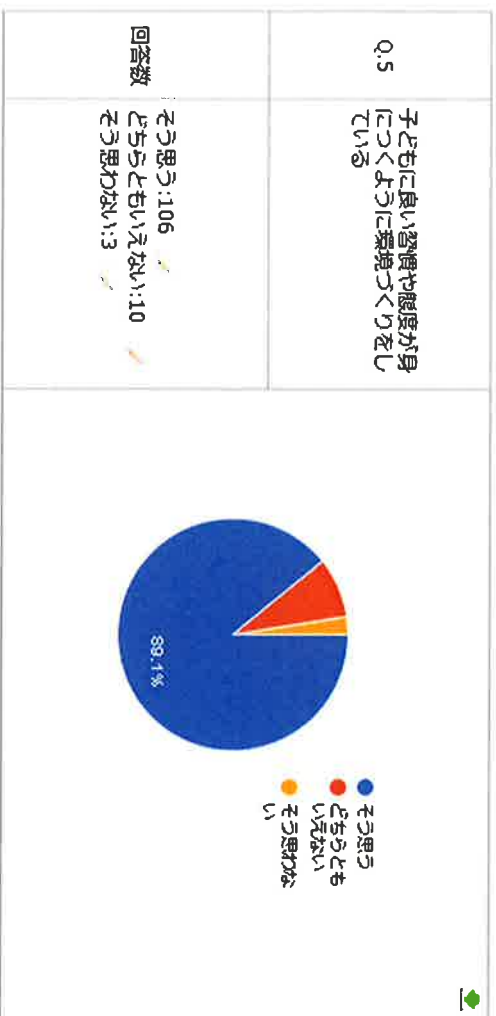
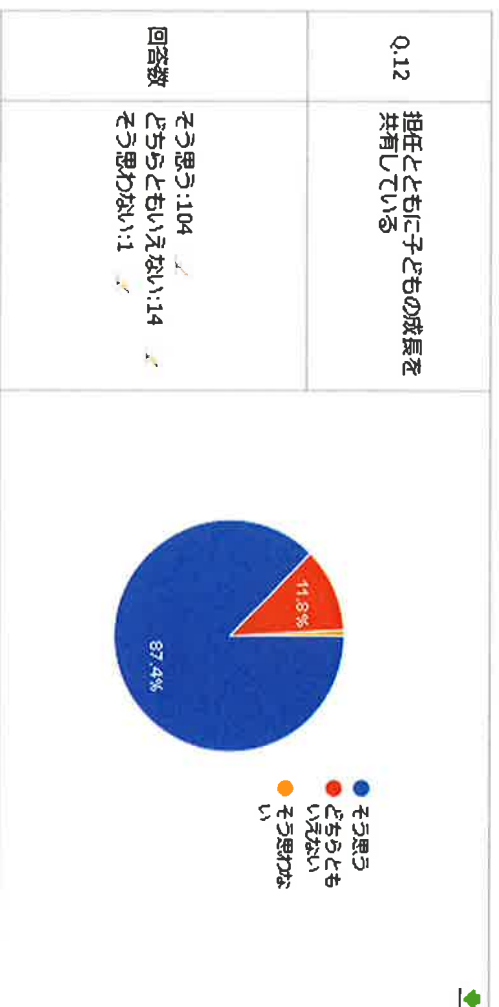
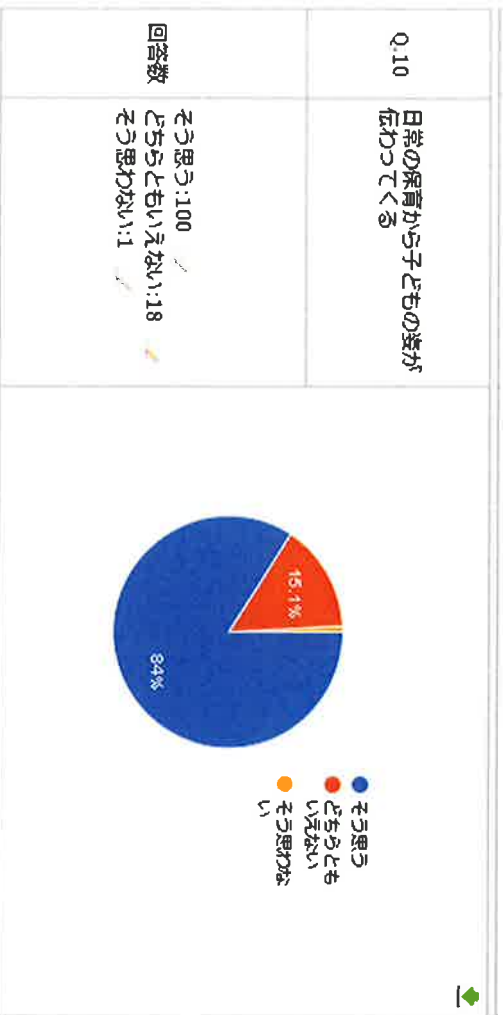
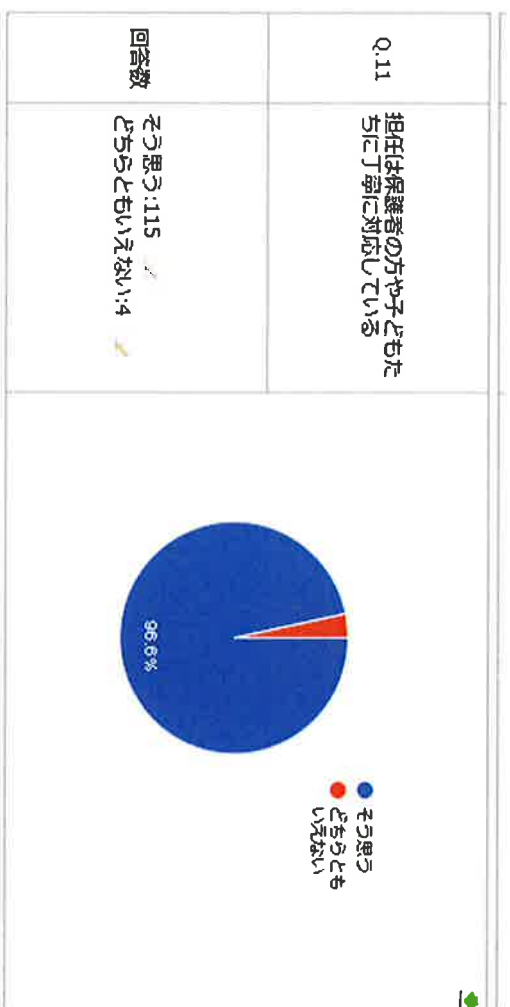
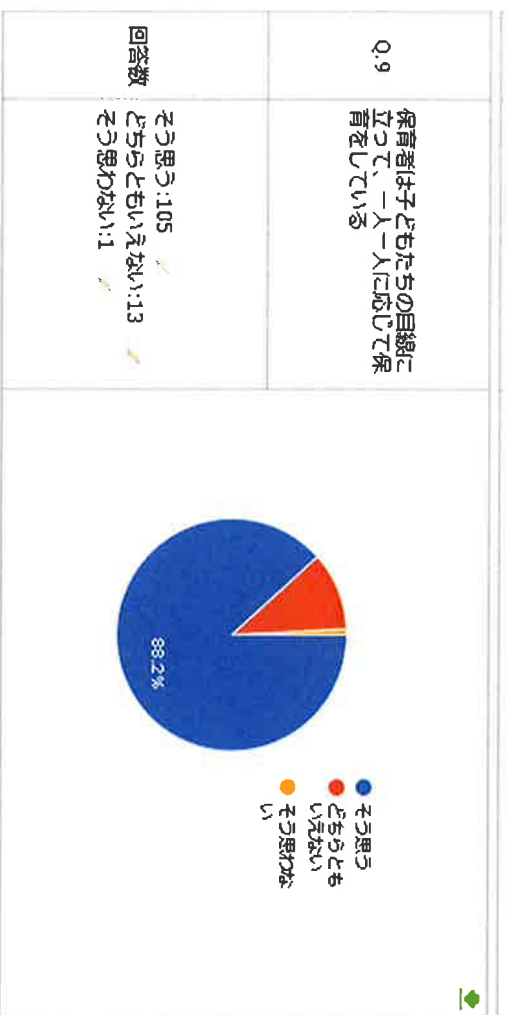


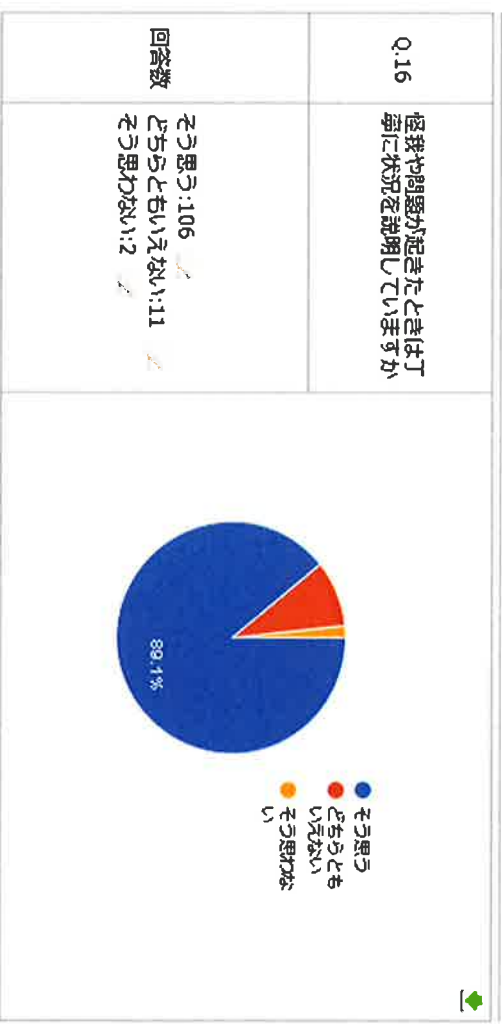
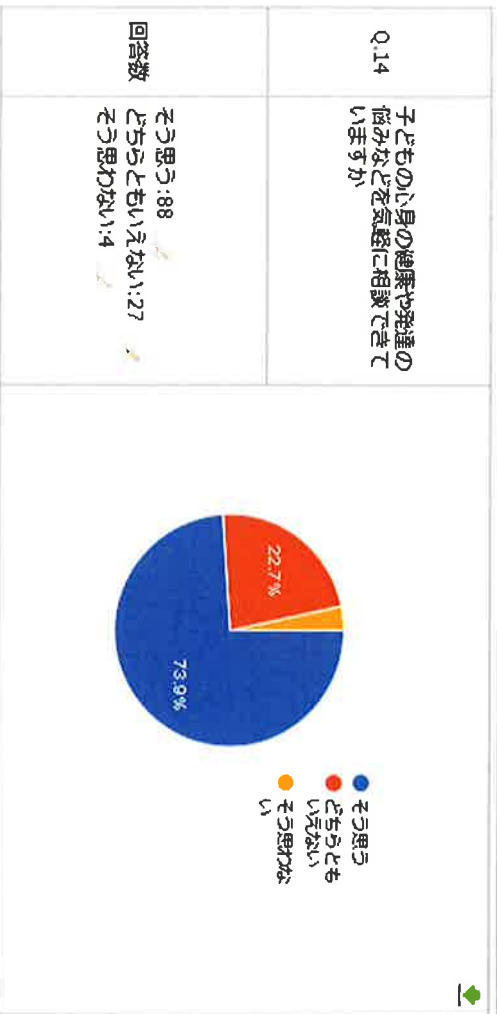
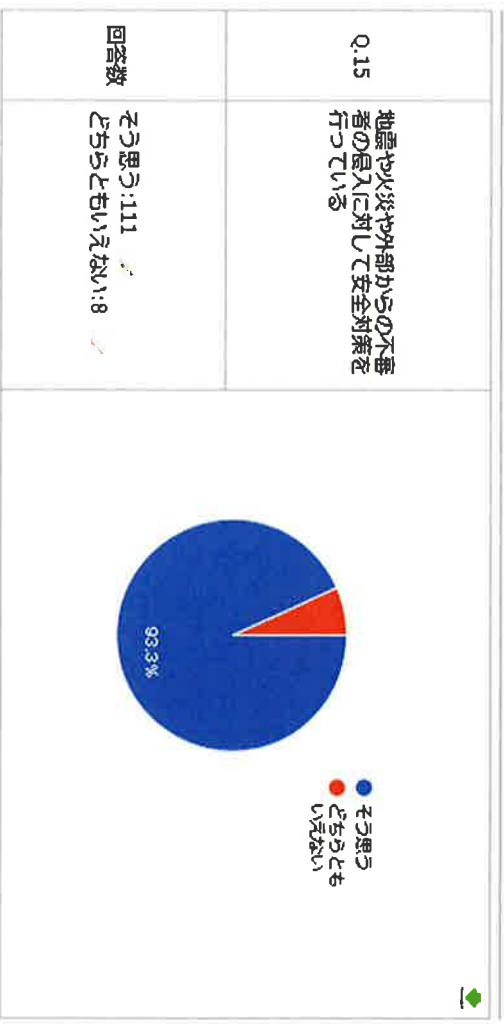
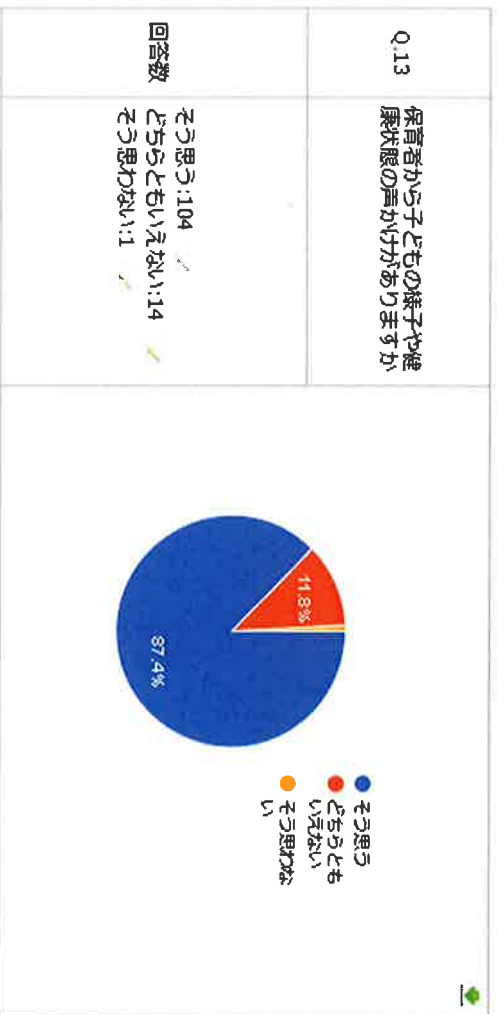
保護者アンケート

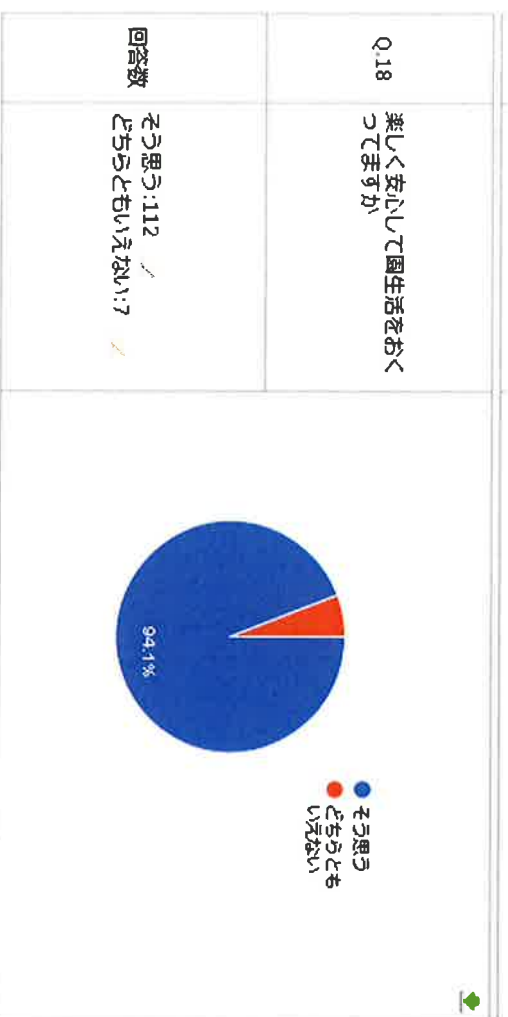
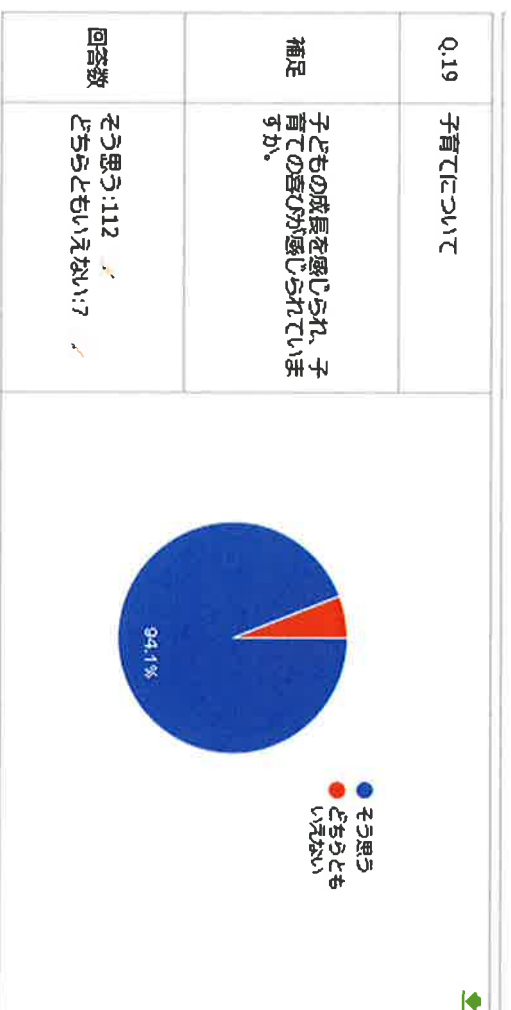
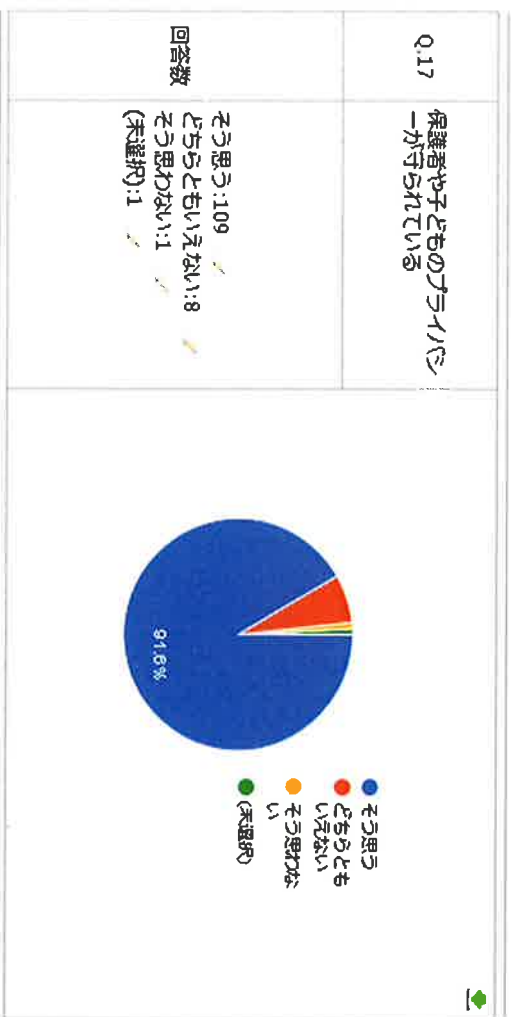
R3年度











今年度は毎月のクラスからのお便りや動画配信などがあり、こどもの幼稚園での様子がとてもよく伝わりました。

新しい生活様式の中、先生や子どもたちも生活環境に慣れるのも大変だったかと思いますが、そんな手探りの中でも、子どもたちの様子を初めての動画配信をしていたいたり、園での様子を見せて頂き、感謝致します。来年度もよろしくお願い致します。

このコロナ禍の中、子どもたちの安全を守りながら、保育していただき感謝しています。園生活のなかで日々成長しているように思います。発表会は忘れられません。子どもたちの成長に感無量でした。

コロナ禍で子どもたちの幼稚園での様子が実際に見れない事もありましたが毎日楽しく幼稚園に行っていることがすべてだと思うのでそれだけで親としては幼稚園に感謝しております。ありがとうございます。

コロナ禍での園行事開催に深謝致します。最後の園生活、たくさん思い出を作って頂きありがとうございます。

いつも、娘の成長の為に丁寧に対応して下さい、ありがとうございます。子ども達の作品も、分かりやすく、季節折々に飾られており、一緒に楽しんで見れています。保育園にも毎日楽しく通えていて、安心して通えています。ありがとうございます。

多くの感謝のメッセージをいただきありがとうございます。
保護者の方から多くの言葉が励みになっています。大変感謝しています。

保護者からの気づき

- 日々子どもたちがどんな活動をしているか知りたい、それがどんな育ちにつながっているか知りたい
 - 引き続き、動画やクラスだより、アプリを利用して、日々の子どもの様子を伝えていきます。
 - 子どもたちが何に興味をもち、どんな育ちをしているのかをより説明していく
 - 保護者同士の交流の機会
 - コロナ禍で保護者同士の交流する機会を幼稚園が提供することができませんが、コロナが落ち着いたら親子遠足や運動会や保育参観などで保護者同士の交流ができる機会も増やしていきます
 - 学習面での不安
 - 「書く」「読みとる」「数える」「聞きとる」子どもたち一人一人の興味・関心を大切にし、子どもたち一人一人の発達に合わせて、遊びや環境を通して、子ども自らが関わりながら、「書く」「読みとる」「数える」「聞きとる」を学んでいきます。例えば、ごっこ遊びの中で、メニューを自分で書きたいと思う。わからないから、保育者が用意したひらがな表を見てみる、友だちに教えてもらう。インプットしたことをアウトプットしていく。（「なぜ、英語を学んでいるのに、実際に社会で使えない人は少ないのか。」遊びや環境を通して、直接体感しながら、子どもたちは学んでいく。「子どもたちの興味・関心」から育ちにつなげていく。
 - 園だよりは1・2歳児と3・4・5歳児で分けていたが、来年度は1つにまとめる
 - 連絡アプリの使用→バスキャッチさんに使いやすくなるように、検討してもらっている（できることとできないことがある）
 - 職員と話をしたいけど、名前が分からない。→職員の名札を付けて、名前が分かるようにします。
 - お迎え時混雑していて中々先生に名前を伝えられない→声をかけた人は後ろに下がっていたら、次の方が声をかけやすいように、皆で協力していきましょう。
- 来年度も幼稚園と保護者の方、地域で子どもたちの育ちを支えていきましょう。**